

CT造影剤の血管内投与に関する説明、同意書

至誠堂総合病院
年 月 日

患者氏名 様 年 月 日生 性別 年齢 歳

造影剤は診断のために非常に有用なものです、まれに次のような副作用が起こる場合があります。

- 1. 軽度の副作用：はきけ、嘔吐、かゆみ、じんま疹など（頻度は3%程度）
- 2. 重度の副作用：全身の激しい発疹、血圧低下、意識消失、呼吸抑制（約2.5万人に一人：0.004%）
- 3. 重篤な副作用：非常にまれに死亡例（0.0005～0.001%）の報告があります

副作用には治療を要しないものから、集中治療を要するものまで様々な程度があり、完全に発症を予測することは現在でもできません。アレルギー体質の方に頻度が高いという報告があります。

副作用の発症を出来るだけ抑えるためにお聞きします

- 1) 過去に造影剤を使用して検査したことがありますか？ ☐：ある ☐：ない ☐：わからない
- 2) 1) である場合その際副作用はありましたか ☐：ある ☐：ない ☐：わからない
- 3) 甲状腺機能亢進症と言われたことがありますか ☐：はい ☐：いいえ
- 4) 薬物アレルギーと言われたことがありますか ☐：はい ☐：いいえ
- 5) 妊娠中もしくは妊娠している可能性はありますか ☐：ある ☐：ない
- 6) 喘息と言われたことがありますか ☐：はい ☐：いいえ
- 7) 糖尿病の薬を服用していますか ☐：はい ☐：いいえ

「はい」の場合、薬の名前がわかれば教えてください

造影剤を注入直後に身体が暖かく感じられることがありますがこれは直接の刺激であり、副作用ではありませんのでご心配いりません。また急速に造影剤を注入した場合、かなり注意をしても血管外に造影剤が漏れることも起こり得ます。この場合には注射した部位がはれて痛みを伴うこともあります。ほとんどは時間が経てば吸収されるので心配ないのですが、まれに漏れた量が非常に多い場合には特別な処置が必要となることもあります。

当院では万一の副作用に対して万全の体制を整えて検査を行っています。異常を感じられましたらすぐにおっしゃって下さい。副作用はほとんどが注入後10分以内に起こりますが、まれに注入後2日まで位に起こることもあるといわれています。帰宅後も異常を感じられましたら、遠慮なく病院にご連絡下さい。

以上ご説明いたしました。

担当医師： 担当看護師：

以上の説明を受け、

- ☐：造影剤を使用する検査を受けることに同意します。
- ☐：造影剤を使用する検査を見合わせます。

年 月 日 本人署名：

代理人署名： 続柄（ ）